

「第2回白川・緑川 水防災意識社会再構築協議会」開催

白川・緑川において氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、市町・県・国による協議会を平成29年1月27日に設置しました。第1回協議会で決定した白川・緑川の減災のための目標及び頂いたご意見を反映し、第1回幹事会を行いました。第2回となる今回の協議会では、第1回協議会、幹事会の議論を踏まえ「白川・緑川の減災に係る取組方針」を策定しました。

■白川の減災のための目標

昭和28年6月や平成24年7月洪水を超える白川の大規模氾濫に対し、経済・産業・人口が集積した熊本市街部において、『水害に強いまちづくり』と『迅速で的確な避難行動』を目指す。

■緑川の減災のための目標

複数の河川が流れる緑川流域の大規模氾濫に対し、『水害に強いまちづくり』と『迅速で的確な避難行動』を目指す。

開催概要

- 日時 : 平成29年2月21日(火)13:00～
- 会場 : 熊本ホテルキャッスル
- 出席者 : 嘉島町長(代理 総務課長)
美里町長 熊本市長
甲佐町長(代理 副町長) 御船町長
宇土市長(代理 副市長) 熊本県河川課(代理 審議員)
熊本県危機管理防災課(代理 主幹) 気象庁熊本地方气象台長
熊本河川国道事務所長 立野ダム工事事務所長
緑川ダム管理所長 (市町においては五十音順)



議事内容

- ・第1回協議会を踏まえ、「白川・緑川の減災のための目標に向けた3本柱の取組」を決定した。
- ・「白川・緑川の減災に係る取組方針(案)」について決定した。今後、実施に向けて幹事会を中心に議論を進めていくことを確認した。

主な意見

- ・行政防災無線の拡充や庁舎の機能向上等、予算が必要なものが多くある。実施に向けたサポートがあれば、計画がより具体的になる。
- ・早急に実施する必要がある優先すべき方針と継続的に行うべき方針を分けて整理した方が良い。
- ・町の洪水対策計画の策定に国の助言を頂きたい。
- ・首長として、避難勧告を発令するタイミングが難しいため、昨年の降雨時に事務所や气象台とホットラインで密なやりとりが早期からでき、危機感を持って対応できて良かった。
- ・国と県等の情報を集約し、一つの河川で水系として一元化された情報を発信すると良い。市が所有する水門に関する情報等も含め、関係機関の情報の集約が課題である。
- ・平日における地域防災力の向上については、企業との連携も良い。水防団と消防団への加入を企業が働きかければ、社員が地域とつながる良い機会になり、企業としても地域貢献につながる。